

令和7年度 第4回小糸・清和地区公民館運営審議会 会議録

- 1 会議名称 令和7年度第4回小糸・清和地区公民館運営審議会
- 2 開催日時 令和8年2月26日（木）15時から16時30分
- 3 開催会場 小糸公民館 講義室
- 4 出席委員 【小糸地区】小川委員、榎本委員、細家委員、藤村委員
【清和地区】伊藤委員、佐藤委員、亀井委員、白駒委員
事務局 【小糸公民館】倉見館長、寺本公民館主事、隅越主任主事
【清和公民館】安部館長、唐鎌副主査、竹内主任主事
- 5 欠席者 なし
- 6 傍聴人 なし
- 7 公開または非公開の別 公開・ 非公開
- 8 会議概要 下記のとおり

1 開会 【進行：安部館長】

君津市公民館規則第9条第1項によりますと、会議は委員の半数以上が出席しなければ開くことができないとされております。本日の出席者は8名で全員出席となり、会議の開催要件を満たしております。

なお、本日の会議は、審議会等の会議の公開に関する規則により公開となっておりますことを申し添えさせていただきます。

また、同規則第6条の規定により会議を傍聴することができることとなっておりますが、本日は傍聴者はおりませんので、報告させていただきます。

2 委員長あいさつ 【伊藤委員長】

令和7年度最後の審議会にお集まりいただきありがとうございます。

先日、君津地方公民館運営審議会委員連絡協議会が丹間先生を講師に迎えた研修会で少子高齢化は社会教育にとってチャンスだという言葉がありました。自分なりに、今ある中で何をするか、創造的に新たなものを合わせて行ってい

くと解釈しました。地域団体が連携をとりながら最適化に向けて取り組んでいくべきだと思っております。

本日は2件の議題があります。終了後に地区別の協議も予定されておりますのでよろしくお願いいたします。

整いませんが、あいさつとさせていただきます。

3 報告

(1) 公民館、地域交流センターの開館時間、休館日等の見直しについて

【伊藤委員長】

次第の3報告「公民館、地域交流センターの開館時間、休館日等の見直しについて」

事務局より報告をお願いいたします。

・別紙資料に基づいて安部館長説明

【伊藤委員長】

それでは、ただ今事務局より報告ございましたが、何かご意見等ある方がいらっしゃいましたらお願いをしたいと思います。

【藤村委員】

いろいろ検討した結果でしょうか、周知も含めて皆さんに協力いただければいいかと思っております。まず、休館によって公民館でどの程度影響があると考えているのか、それから、周知方法について、市からも当然出ましようけども、公民館として一緒でも別々でも構いません、どのような処理法を考えているのか、あれば教えてください。

【安部館長】

休館による影響ということですが、やはり各館の休館日である月曜日または火曜日に定期的に利用されているサークルの活動への影響が考えられます。該当サークルのみなさんには、既にそれぞれ利用説明会などで説明をさせていただいた際に、活動日について振り替えるということでご承知していただいております。今のところ、月曜日または火曜日に休館となりましても、小糸・清和公民館の利用サークルにつきましても特に影響がないと考えられます。

また、今後の周知についてなんですけど、4月の「広報きみつ」にまず掲載いたします。その後、市全体で統一しまして、ホームページやSNSなども活用して周知をしていきたいと考えております。

また、利用サークル・団体の方には清和、小糸公民館それぞれ利用者説明会等で今回の方向性については周知し、ご承知していただいているほか、館内に統一した貼り紙などをして来館者の方には周知をしていきたいと考えております。

【伊藤委員長】

1番の中心は利用者ということでしょうから、今の時代の流れで、休館や開館時間が短くなるというのはやむを得ない面もあろうかと思いますが、サービスの成長につながるようにしていただければと思います。よろしく願いいたします。

4 議題

(1) 令和8年20歳のつどいについて

【伊藤委員長】

議題の(1) 令和8年20歳のつどいについて清和公民館より説明をお願いいたします。

・資料1頁に基づき、PowerPointを用いて唐鎌副主査説明。

【伊藤委員長】

みなさんに意見を伺う前に、当日出席いたしました小川委員何かございますでしょうか。

【小川委員】

当日は風の強い日で、着物や体育館に入る時に心配がありましたが、参加者はスムーズに流れていました。

終わった時に「立派だな」ということをとても感じました。実行委員長をはじめ、実行委員の皆さんがテキパキと動いていました。やはり実行委員会を7回設けたということで、緻密な計画だったと思いますし、挨拶の内容も、「今の子どもたちはしっかりしているな」ということを感じました。

それから、出席者自己紹介は急遽、対面に変更されたんですね。スクリーンへの投影が日の光でうまくいかなかったの、実行委員の方で、機転を利かせたという、素晴らしさ。対面にしたことは、とても良くて私の友達のお孫さんが20歳だったんですね。顔が見えて名前もわかって良かったということをもみんなで話していたと聞きましたので、自己紹介はやはり大事だと思いました。今まで名簿もなく、どの子がどの子かわからなかったのとても良かったと思

います。強いて言えば、もう少しゆっくり名前を言って欲しかったです。

それから、壇上の花は、野の花を生ける会の方のボランティアなんですね。経費も削減されていたので、小糸婦人会のサークルでボランティアで小糸の花を活かしてやっても良いのかなと感じました。

それから、当日は土足で入っていいということに対して参加関係者はすごく喜んでいました。着物を着て、草履を脱いでスリッパに履き替える動作がすごく辛いのだそうです。後のお掃除が大変だったみたいですが、そのまま上がったことはよかったですと思いました。

【伊藤委員長】

ありがとうございました。私も当日来賓として出席しましたが、テレビで見る20歳の様子と比べると、この中学校区の20歳はしっかりしていて、落ち着いていました。特に、実行委員長の古澤さんは自分の将来のことについて、しっかり話していて素晴らしかったです。

出席者自己紹介の時の司会者の機転にも、何があっても対応ができるのは素晴らしいと思って見ていました。

つどい自体は自分たちお喋りが中心でいいのではないかと思います。なので1時間程度の式典で、私は良かったのではないかと考えております。

それから、先程小川委員から花の関係のお話もありましたが、地域でお祝いする意味合いで、地域団体から協力を得ても本当に良いと思います。今日、皆さんのご意見等伺った中で、次回に向けて対応、取り組みをしていただければと思います。

それでは、みなさんからご意見等ございましたらお願いしたいと思います。

【藤村委員】

今の土足の件ですが、3、4年前に周東中学校に相当無理を言って負担をかけないということで会場をお願いしたんですよね。ところが、今回、保護者も靴を履いて入っているんですよね。

20歳のつどいで、自分の母校に土足で上がることを認めていいのかと私は感じました。もちろん草履でいたい気持ちはわかりますが、草履を自分で持つてくるとか、外履きと内履きを分けるとか、そのくらいのことは大人として日本を背負って人たちに考えさせてもいいような気がしたんです。どのような案内を出したかわかりませんが、自分の出身校で、もちろん土をはたいたんだらうけども、やっぱり泥が落ちるんですよ。それを20歳のつどいという公の場で許していいのかと。

例えば、案内で上履きと外履きを必要に応じて分けるように、保護者はスリ

ッパでもいいと思うんですよ。別に着物で写真撮るわけでもないでしょうから、どうしても着物で草履でいたかったら草履を持ってくるとか、靴を外とうちで分けるとか、その辺りは指導の場として私は必要なのではないかと感じました。

事務局の努力もわかったし、教育委員会から意見が入ったというのも伺いました。それを踏まえて、あえて20歳の学習の場でこういうことをさせること自体、教育委員会はどんなイメージを持って指導されたかわかんないけども、やっぱり違うのではないかと。

さっき写真を見たら、保護者も靴でしたよね。雑巾で拭いたのかもしれませんが、自分たちが一生懸命昔磨いた校舎を土足で入らせて良いのかと。もちろんこれは1つの考えです。

ですから、来年度以降については周知徹底させるなど検討をしなければいけないのではと思いました。

それと受付について。20歳同士でどうしても話したいというのはわかりますよね。例えば来年の成人式の実行員を早めに集めて、19歳のその子たちに来年を見据えて会場の雰囲気を知る意味で受付をやらせるというような工夫もあっていいのかなと思いました。

【伊藤委員長】

ありがとうございました。ほかに何かございますか。

今回は天気は良かったけど砂嵐がひどかったんですが、もし雨の日で土足というのはいかがかとも思いますので、その点については早めに、20歳のみなさんが自分たちでやる式典ですので、どういう方法がいいのかを早めに提案してもらって考えてもらうということで良いのではないかと思います。

【白駒委員】

保護者はもちろん内履きに変えてもらうという前提なのですが、やっぱり着物を着て、草履を履き替えるというのは相当この子たちには辛いんですよ。

つい最近、うちの娘が20歳の前撮りをしてきまして、草履が痛い。慣れてないから、グラグラしちゃうんですね。それを立ったまま履き替えるのは相当無理なんです。座って履けるスペースが周東中学校の会場にはないんです。そこで、内履きに変えるというのもなかなか厳しい。

男の子はローファーなのでスリッパでいいと思うんですが、草履をもう1つ用意するのも大変なんです。なので、できれば何か敷物でそこだけは歩いていいという場所を作ってもらって女の子たちは楽なんじゃないかなと思いました。

【伊藤委員長】

小糸公民館の場合は、講堂で選挙はやりましたか。

【倉見館長】

講堂でマットを敷いてやりました。

【伊藤委員長】

旧清和公民館の場合も式典の時に選挙のマット、を敷いてやっていたんですが人数が多いからどうか。投票所でいくつかあるでしょうから、それを集めれば可能性があるんじゃないかと思います。できるだけ土足で行おうとすると、やはり砂がついて、体育館に傷がついて、今いる子どもたちに対してもよくないでしょうから、何らかの方法を早めに相談して対応してもらえばいいのではないかと思います。新たに買うというのはできないでしょうから、あるものを使って対応していただければと思います。

会場の問題も、各館では人数が多く対応できないでしょうから、やはり自分たちが卒業した思い出ある学校を借りて式典をやるのが20歳のみなさんにとっては良いのではないのでしょうか。

受付については、先ほどご意見があったように、次年度の実行委員会を早めに組織したり、地元にいる次の20歳になる人をお願いしたりするのもいいでしょうし、青少年相談員などの地域の団体もありますので、協力してお祝いを一緒にしてもらおうということで、相談をしていただければいいのではないかと思います。

20歳の当時者と相談して対応していただければと思います。

それでは次の議題に入りたいと思います。

(2) 令和7年度の事業総括について

【伊藤委員長】

それでは議題の(2)「令和7年度の事業総括について」小糸公民館から説明をお願いします。

- ・資料2頁及び別紙資料に基づき寺本公民館主事、隅越主任主事より説明

【伊藤委員長】

続きまして、清和公民館から説明をお願いいたします。

- ・資料3ページに基づき唐鎌副主査説明。

【伊藤委員長】

それぞれの公民館から説明をいただきましたが、特段ご意見等がありますでしょうか。

事業総括ということで、私はそれぞれの公民館の特色が出ていて、清和は過疎化、人口減少が進んでいる地域ということで、他の地域からの関わりを持ってもらう取り組みをしているわけです。小糸公民館につきましては、地域だけでも手一杯で手狭になっているのではないかと思います。それぞれの地域性があつた取り組みをされているのは良いのではないかと考えております。

今後において重要な部分は情報発信です。この点について、高齢者もだんだん多くなってきていますので、情報化社会の中、機械で見るのも良いですが、私自身も見づらくて、紙になったりします。ですから、情報格差解消のためにも、ぜひ、予算に合った情報発信だけはやっていただければと考えております。公民館に情報がないと、限られたサークルだけの利用になってしまうのではないかと思いますので、これからもいろんな方にも使っていただくには、情報発信が1番重要だと思いますので、形はいろいろあろうかと思いますが、ぜひお願いをしたいと思います。

それでは、議題につきましては以上とさせていただきます。

5 その他

【藤村委員】

今回ご案内を郵送でいただいたのですが、例えば可能な人はメールで送る、どうしても難しい人は郵送するとば半分減るのではないかと思います。私たちが小糸公民館に送付物を置いてくれれば、取りに来ますからご検討ください。

【伊藤委員】

みなさんの了解が取ればそのような形で、簡略化してもいい部分はするということでやっていただいてもよろしいのではないかと思います。

・安部館長より次回会議日程について令和8年5月14日の木曜日午後からを予定している旨伝達

【安部館長】

以上を持ちまして令和7年度第4回小平和地区公民館運営審議会を閉会いたします。

ありがとうございました。